

## 対象企業：奥村組

### ・この会社が目指す姿について

コーポレートレポートの冒頭にある「人と自然を、技術でむすぶ」という言葉から分かるように、奥村組は快適で安心・安全な生活と自然との両立を目指している。具体的には SDGs が目指す「持続可能な共生社会の実現」である。この目標実現に伴って、このレポートでは奥村組が目指すべき姿として以下の三つが挙げられている。①企業価値の向上に努め、業界内でのポジションを高める。②持続的な成長に向け事業領域を拡大し、強固な収益基盤を築く。③人を活かし、人を大切にする、社員が誇れる企業へ。また、取締役によるトップメッセージでは自社が目指すべき具体的な理想像が語られている。このように奥村組のコーポレートレポートでは自社が目指すべき姿が明確に示されていると言える。

### ・この会社の競争優位性について

奥村組はさまざまな場面での BIM 活用を促進し、データ活用に主眼を置いた取り組みによって生産力向上を図っている。特に注目すべきなのが ICT 土工管理システムの開発である。これは土工データ管理作業の省力化と効率化を目的としたものであり、奥村組が開発した土砂トレーサビリティ管理システムも含んでいる。土砂トレーサビリティ管理システムはどこの土をどの場所に盛り土したのかを記録可能なシステムで、3次元土工管理図が自動作成されるため従来の方法では多くの時間を要した土砂のトレーサビリティ管理が効率的に行われる。この技術は事業を効率的に行うことを可能にし、事業の効率性において他社への競争優位性が保たれていると言える。

### ・この会社の競争優位性の持続について

奥村組が他社への競争優位をこの先持続していくことは困難であると考えられる。コーポレートレポートを見る限り、奥村組が他社と差異をつけている点は BMI を使ったデータ管理による業務の効率性である。奥村組に追随する企業は、今後 BMI を活用した業務の効率化を進めるだろう。そうすれば、奥村組の他社に対する優位性が失われることになる。

### ・この会社に入社して自身の人的資本価値向上を達成できるか

自身の人的資本価値向上をこの会社に入社することで達成することができる。奥村組は働き方改革、ダイバーシティ経営、ディーセントワークを推進している。このような働き方や企業の在り方は社会のトレンドである。そのため、この企業に就くことで時代の流れに沿った労働環境や企業の在り方を学ぶことができる。また、労働や企業の在り方だけでなく、環境との接し方を考えることができる。それも、奥村組は自然と関わる事業を行っているため持続可能な社会への貢献を重視しているからである。

・報告書の改善の余地

改善の余地はあると考える。持続可能な社会の実現を重視していることはよく理解できたが、他社に対する競争優位に関する情報が少ない。他社との比較をし、どの分野でどのように優位を保っているのか、明確かつ具体的な説明が必要だろう。